

アンケートの内容		A	B	C	D
		十分そう思う	そう思う	あまり思わない	まったく思わない
1	子どもたちは、あいさつがよくできている。				
2	子どもにとって教室が心の居場所になっている。				
3	発達段階にふさわしい児童を育成するために、学年の総力で児童理解を深め、教育活動に取り組んでいる。				
4	子どもたちは、学習に対して意欲が高まっている。				
5	子どもに、学習の基礎・基本の徹底を図ることができている。				
6	個に応じたきめ細かな指導・支援に努めている。				
7	本時のめあてを明確にし、自己決定の場を大切に授業づくりをしている。				
8	「主体的・対話的で深い学び」になるよう努めている。				
9	3年生から行う外国語活動の目標を達成するために、低学年で行う外国語活動は効果的である。				
10	校内研究や教科指導等において、職員間で学び合うことは自分の指導力向上につながっている。				
11	道徳では子どもが自己の生き方について考えを深める授業を展開し、子どもの道徳的実践力の育成に努めている。				
12	体力向上推進計画に基づき、体力向上を進めている。				
13	配慮が必要な子どものため、校内の指導体制づくりを活用した支援ができている。				
14	はるかぜ学級、通級指導教室の役割を理解し、特別支援コーディネーターやSLCと積極的に連携を図っている。				
15	報告・連絡・相談を重視し、職員間の共通理解を図り、いじめや問題行動の早期発見・早期対応にあたっている。				
16	児童の話を手際よく親身になって聞き、児童理解に努めている。				
17	保護者を交えての教育相談や生徒指導を必要に応じて行っている。				
18	防犯・安全教育を計画的に行い、安全な学校生活が送れるように配慮している。				
19	家庭の協力を得て、家庭学習(宿題を含む)の習慣を身につけられるよう指導している。				
20	地域の教育力を活かした総合的な学習や体験活動を取り入れている。				
21	懇談会や面談、学年・学級通信等を通して、保護者に学校の情報を積極的に提供している。				
22	中学校区の重点目標を踏まえた園小中連携を意識し、日々の教育活動を行っている。				
23	勤務時間を意識した働き方ができている。				

自由記述

--